

# 福島県

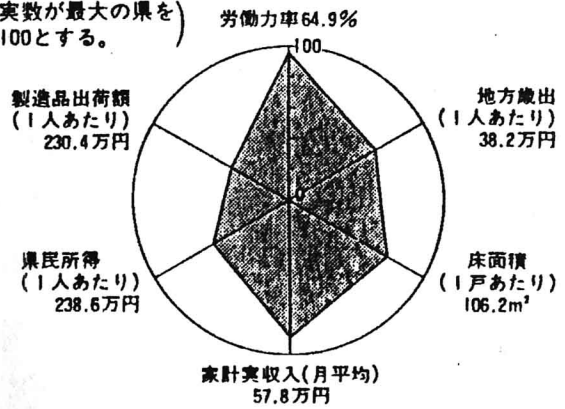
10市52町28村  
 面積(1991年) 1万3782km<sup>2</sup>  
 人口(1991年) 210万8000人  
 人口密度 153.0人/km<sup>2</sup>  
 県庁 福島市杉妻町2-16  
 〒960 ☎0245-21-1111

福島県は、東北地方南端の県である。県の東側は太平洋に面しており、冬季の積雪は少ない。しかし、奥羽脊梁山脈の西側は積雪が深くなり、特に、新潟県との県境の奥会津地方は、わが国有数の積雪地帯であり、電源開発のための人造湖が造られている。総面積は、1万3782平方キロメートル、全国第3位、可住地面積の割合は28.3%で、全国平均より若干低い、可住地面積は3899平方キロメートルで、北海道、新潟について、これも全国第3位である。

1989年度の県内総生産額は、6兆2724億円、全国第20位、東北地方では、宮城県に次ぐ規模がある。同年度の1人あたり県民所得は、238万6000円、全国で26位、東北地方では、これも宮城県に次ぐ。工業化が順調に進んでおり、経済規模、経済水準ともに全国順位を上昇させてきている。首都圏への近接性が、これを可能としたとみてよいであろう。県内総生産の経済活動別構成をみると、全国平均にくらべて農林水産業の比重が高く、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、サービス業で劣

## 福島県の経済指標

(実数が最大の県を)  
 100とする。



り、公的部門に対する依存度が高いといった後進性を残しているが、製造業が全国平均を上まわり、建設業も高いなど、発展が急であることを示している。原子力発電の容量は全国2位。

1990年の農業粗生産額は、3747億円で全国の7番目、主要な農産県の一つといえよう。関東北部の農業も工業もという地域の北限である。構成は、米作39.9%、畜産21.3%、野菜17.8%、果実9.0%などからなっており、いぜんとして米作は最重要部門である。工業の発達、ストレートに米作の減少に結びつかない。兼業をしやすい条件があるからである。

1990年の工業の出荷額は4兆8486億円、全国の23番目であるが東北地方では最大である。1人あたり出荷額も230万4000円で、千葉県を上まわった。ただし、千葉県には、東京都への通勤者が多数いることを考慮しなければならない。産業別には、電気機器製造業が34.3%を占め第1位である。1975~90年の工業の出荷額の増加分の42.3%がこの産業によって実現されたものである。

### 食肉の消費

家計調査報告により、1991年の1世帯あたりの食肉購入量をみると、福島県では、牛肉が4.4キログラム、豚肉が20キログラムとなっており、後者の方が約4.5倍である。福島県の世帯あたりの牛肉消費量は、全国で最少であった。これに対して、豚肉消費量の全国最少は、高知県の8.9キログラムである。

ラム。関東、東北、北海道で、世帯あたりの牛肉消費量が10キログラムをこえたのは、山形県の11.5キログラムと神奈川県10.4キログラム。これに対して、中部、近畿、中国、四国、九州地方の各県で、豚肉の世帯あたり消費量が20キログラムをこえたのは一つもない(ただし沖縄は、21.6キログラムである)。

つまり、牛肉消費に関しては、西高・東低であり、逆に豚肉消費に関しては、東高・西低といえよう。価格をみると、福島県の牛肉は100gあたり818円で、神奈川県の837円に次ぐ高さである。価格が高いから消費が少なくなるのか、その逆か判断に迷うところである(消費量・価格とも県庁所在地のもの)。